



放課後児童クラブの支援員・補助員を募集します

近年、共働き世帯の増加などから放課後児童クラブの必要性が高まる一方で、放課後児童支援員などの人員不足が課題となっています。子どもたちの安全安心につなげるためにも、支援員や補助員にご応募ください。



▲送迎の様子

放課後児童クラブとは？

放課後児童クラブは、仕事などで保護者が昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象に、放課後や長期休業日(夏休みなど)に保護者に代わって児童をお預かりする場です。

現在、市内には、30の小学校区に50カ所の放課後児童クラブが設置され、各小学校や地域の方々と連携を取りながら運営を行っています。



放課後児童支援員・補助員とは？

放課後児童支援員とは、保育士資格や教員免許などをもち、都道府県などが行う研修を修了した方です。

補助員には必要な資格はありません。実務経験を積むことによって「放課後児童支援員」の資格取得に必要な研修を受講できるようになります。



放課後児童クラブでの仕事内容

子どもが安心して過ごせる場を提供しています。一人一人の子どもの状況や発達段階を踏まえ、心身ともに健やかに育っていくように、適切な遊びや生活の場を通じて子どもの成長を支援します。



【主な業務】

- 子どもの安全・健康管理
- 年齢に応じた主体的な活動や遊びの見守りやサポート
- 家庭や学校との連携

放課後児童クラブの一日の一例を紹介します

支援員など



開所準備
ミーティング

出欠確認
児童の受け入れ

見守り・支援

おやつ提供

見守り・支援

宿題の支援



日誌作成
閉所準備

13:00

15:00

16:00

18:00

児童



おかえり～



学校から来所

ただいま～

宿題・遊び

おやつ



いただきます！

宿題・遊び



みんなで遊ぶのも楽しいね！

お迎え(随時)



現場で働く放課後児童支援員の声を聞きました

かんたろう学童保育所で放課後児童支援員として働く野間桃子さんに、放課後児童クラブで働くことになったきっかけや魅力について、お話を伺いました。

放課後児童クラブで働くきっかけ

もともと「子どもと関わる仕事がしたい」「保育士になりたい」と思っていました。そんなとき、知人から「放課後児童クラブで働いてみないか」と声を掛けられ、アルバイトとして働き始めたのがきっかけです。

実際に働いてみて、放課後児童クラブの



かんたろう学童保育所
放課後児童支援員 野間桃子さん

仕事に魅力を感じ、放課後児童支援員の資格も取りました。

今後も子どもたちと関わっていきたく思います。

放課後児童クラブの仕事の魅力

日々、子どもと関わる中で、子どもの成長を肌で感じられ、また、その成長を保護者の方と一緒に喜び合えることが大きな魅力です。

子どもから「いつもありがとう」という言葉や手紙をもらったときはとても嬉しいですね。小学1年生から6年生まで長く関わった子どもの卒業は感慨深いものでした。



大切にしていること

積極的に子どもとの関わりを持ち、たくさん話をすることや子どもの話にしっかり耳を傾けることを心掛けています。また、子どもがやりたいことはなるべくさせてあげたいと思っています。

保護者の方には、送迎時や連絡ノートを通して、放課後児童クラブでの子どもの様子を



伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、情報共有することを大切にしています。



放課後児童クラブで働いてみませんか？



放課後児童クラブの仕事は、子どもと触れ合える楽しさを感じながら、子どもの成長を見守ったり、支えたりすることができ、やりがいがあります。

各放課後児童クラブで支援員や補助員を募集していますので、ぜひご応募ください。



このような方は、ぜひ放課後児童クラブへ



- ・子どもが好きで、子どもと関わる仕事がしたい
- ・子どもから元気やパワーをもらいたい
- ・子どもの成長を見守り、支援したい
- ・子育て経験を生かしたい

現在放課後児童支援員や補助員の募集を行っている放課後児童クラブについては、右の二次元コードから確認できます。

※勤務条件や給与など詳しくは、直接、各放課後児童クラブにお問い合わせください。

